

行方市部活動地域移行について

保護者の皆様には、市教育行政に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和6年11月20日（水）に「令和6年度第2回行方市部活動地域移行検討委員会」を開催しました。本委員会において、確認しました当面の取組内容について、共有をさせていただきます。

引き続き、段階的な地域クラブ活動の実施について、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

1 地域クラブ活動の受け皿となる団体名並びに種目について（令和6年度）

受け皿となる団体名	種目（参加生徒数）
なめがたスポーツ・文化クラブ	サッカー（16名）軟式野球（15名）絵画（2名）男子ハンドボール（23名）女子ハンドボール（13名）ヒップホップ（1名）
行方市スポーツ協会	麻生剣友会（28名）玉造剣道（4名）麻生柔道（9名）玉造山王空手道（2名）なめがたスポーツ卓球クラブ（5名）麻生ジュニアテニスクラブ（24名）麻生ミニバス（3名）スリーGクラブ（ソフトテニス）（14名）行方STCクラブ（ソフトテニス）（6名）山王フェニックス（バレー）（3名）
なめがたふれあいスポーツクラブ	ウエイトリフティング（3名）ヒップホップ（2名）バトミントン（3名）土曜通常教室（1名）

2 次年度の構想について

- (1) 「なめがたスポーツ・文化クラブ」を受け皿として、新たに男子バスケットボール、女子バレーボールの地域クラブ活動を実施する。
- (2) 「文化協会」を受け皿としてフラワーアレンジメントの活動を実施する。
- (3) 「なめがたスポーツ・文化クラブ」が主体の地域クラブ活動は、月1回の実施から月2回の実施に向けて準備する。

3 学識経験者からの指導・助言について

- (1) 少子化等の影響により、今後、学校部活動の運営が困難となることから、生徒の多様なスポーツ機会・文化芸術の機会の確保、持続可能な生涯スポーツ・文化芸術活動の機会の確保を目的として、地域クラブ化を推進していくこと。
- (2) 生徒が多様な種目の中から参加する種目を自己選択・自己決定できるよう、地域指導者の都合を鑑みながら、地域クラブの活動日・活動時間を検討していくこと。
※各週で違う種目に参加することが可能となるよう環境を整備すること。
- (3) 県内各市において課題は山積しているが、一部の地域クラブ活動から段階的に実施可能な種目・活動日を増やしていくこと。
- (4) 行方市部活動地域移行検討委員会を継続的に開催し、行方市の実態に応じた地域クラブ化を検討・実施していくこと。

